

質問 布俣議員（自民・飛騨市）令和7年10月3日（金）

1 学びの拠点としての宇宙関連施設の活用について

答弁 知事

子どもたちが宇宙に憧れ、大空に夢や希望を抱くことは大変素晴らしいことだと思います。議員ご指摘のとおり、本県は、国内唯一の航空と宇宙の専門博物館である空宙博（そらはく）と、世界をリードする宇宙物理学研究施設を有し、子どもたちは、間近に宇宙を感じ、宇宙の真理を解き明かす取組に触れることで、宇宙に対する興味・関心を育む機会に恵まれた環境で暮らしているところでございます。

その利点を生かし、両施設における学びを通して、子どもたちのフロンティア精神、ふるさとへの誇りを醸成し、将来の宇宙産業を担う人材の育成につなげることを目指したいと考えております。

先ず空宙博におきましては、子どもたちが宇宙について楽しく学べる体験教室やイベントを数多く開催しております。本年度は、宇宙を扱う人気アニメとコラボしたオリジナル映像を作製するとともに、空宙博職員が惑星探査の最新情報を紹介する、お手製の掲示板を設置するなど、宇宙を身近に感じてもらえる展示を導入いたします。

また、学校団体の受入れも随時行っておりまして、令和6年度には、県内小学校82校3,678名、中学校8校343名が来館し、そのうち8割の学校が、各学年の学習指導要領を踏まえたオリジナル教材を用いて、空宙博ならではの教育プログラムを受講しているところでございます。

さらに、県教育委員会では、本県の自然・歴史・文化芸術・産業に触れて学ぶ「ふるさと魅力体験事業」を実施し、空宙博において体験活動を行う市町村教育委員会を支援しているところでございます。

次に宇宙物理学研究施設につきましては、現在、飛騨地区の県立高校に東京大学の教授を招いて講義を受けるなど、高校生が宇宙物理学を学ぶ機会を設けているところでございます。また、飛騨市の小中学校では、実際に研究施設を見学して、施設の大きさを体感し、宇宙の謎に触れることで、科学への関心を高めていると伺っております。今後、こうした飛騨地区における取組を県内全域に広げるために、各市町村教育委員会に働きかけてまいります。

また、空宙博の展示スペースを活用して情報発信することも、子どもたちが宇宙物理学に触れる一助になると考えております。現在も空宙博では、研究施設が進めてきたニュートリノ研究、これを紹介する展示を常設しております。今後は、最新的话题を分かりやすく紹介するなど、子どもたちにとっても見応えのある展示へと内容を充実してまいります。加えて、研究施設の取組をテーマとした特別企画展の開催も検討

してまいりたいと考えております。

一方、本県では、岐阜大学と連携いたしまして、県内高校生を対象とした宇宙人材育成プログラムにも取り組んでおります。宇宙に関する基礎的な知識や技術の習得を目指す「宇宙工学講座」は、平成 28 年の開始から今年で 10 周年を迎えたところでございます。

さらに、これも議員触れられましたけれども、令和 4 年度からは、岐阜大学が中心となり、県内の高校と企業が連携いたしまして、小型人工衛星の設計・製造・打上げ・運用までを一貫して行う「ぎふハイスクールサットプロジェクト」を進めております。先月 19 日には、高校生が開発した超小型人工衛星「らいちょう」が国際宇宙ステーションから放出される模様を、県庁 20 階に設置した特別ブースで生徒たちと共に私も参加してリアルタイムで見届けまして、大変ワクワクと感動を味わってまいりました。

以上のとおり、本県では、空宙博を学びの拠点として活用しつつ、子どもたちの宇宙への興味・関心の喚起と、岐阜大学と連携した人材育成に取り組んでいるところでございます。

今後は、宇宙物理学研究施設を所管する東京大学とも協議の場を設け、子どもたちの宇宙への憧れが宇宙産業への就業意欲を育み、産業振興へとつながるよう、大学や教育委員会、さらには研究施設とも連携いたしまして、宇宙産業の人材育成を切れ目なく展開してまいります。

担 当 課	航空宇宙産業課、義務教育課
電話番号	(航)058-272-8837 (義)058-272-8742
メー ル	(航) c11354@pref.gifu.lg.jp (義) c17785@pref.gifu.lg.jp